

住建・サービス

住宅リフォームのオンテックス(大阪市、田中紀行社長)は省エネ性能の高い外壁用塗料を開発し、このほど販売を始めた。特殊な発泡物質を塗料に練り込んで、空気を含ませることで遮熱性と防音効果を高めた

のが特徴。塗料の厚みが増してしまつたため高度な施工技術が必要だが、独自の体制を整えて品質の維持・向上に取り組んでいる。

「確かに以前より冷房の利きがよくなった気がする。来月の電気代が楽しみ」。最近、オンテックスの新商品「EーテックスDX」を使って外壁をリフォームした顧客からはこんな声がかかるという。全国的な電力不足を背景に、手

先取り現場技術

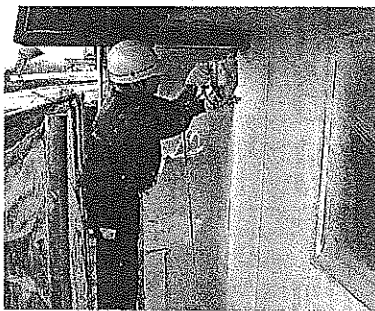
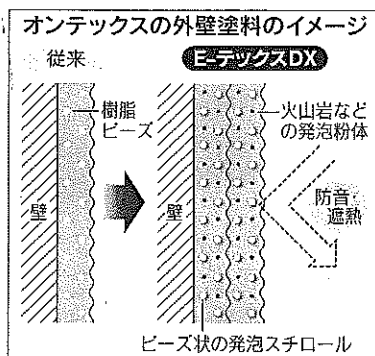
厚さ3ミリ、遮熱・防音性高く

軽な改修で住まいを省エネモードに切り替えたいと望む家庭は多い。

住宅の多くは硬質ウレタなど断熱材を内壁に採用しているが、築十年もたつとカビや湿気などで断熱材が影響を受け、断熱性や防音性能が弱まってしまう

ケースが多い。断熱材を取り換えるためには一度内壁が、外壁に塗料を塗るだけならばコストはより安くすむ。

オンテックスは、これまででも外壁塗料の基材として樹脂製ビーズを練り込んだ塗料を採用していた。だが、0.9ミリ以上の厚みを出そうとすると壁から塗料がたれ落ちて塗りムラが発生し、思うような遮熱・防音性能を出せないのが課題だった。



オンテックスは専門の協力工務店にだけ施工発注し品質向上を図る

オンテックス

発泡スチロール入り外壁塗料

「より厚く塗るためには塗料の重さを軽くすればいいのでは」(開発部)。商売を守るため、専門の協力工務店にしか工事発注しないと

(根本舞)